

# タックスファンタスティック TAX FANTASTIC!!

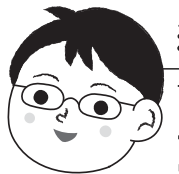
## 第22回 テーマ 税理士はオンラインで仕事ができるか?



た く す  
田久巢

田久巢会計事務所の代表で  
公認会計士・税理士。  
45歳男性。

田久巢会計事務所の代表の田久巢だ。感染症の流行や花粉症等で外出を控えざるを得ないとき、皆さんはどうするだろうか? 受験が間近に迫っていれば、家に閉じこもって集中して勉強するだろうが(しない人もいるだろうが)、余裕があれば学校で勉強する代わりに家で趣味のDVDなどを見てしまうかもしれない(余裕がなくてもする人は多いだろう)。では、税理士の仕事の場合はどうだろうか?



えりいと  
襟糸

一流大学卒のエリート税理士で知識が豊富なのだが…。入所5年目。35歳男性。



ぜいた  
税太

税理士を目指しながら働く28歳男性。入所2年目。妻子あり。



ぼきみ  
簿記美

高卒新入り18歳女子。簿記マニアだが、少々世間知らず。

**簿記美** 襟糸先輩、今度の合コンなんですけど、一緒にどうですか?

**襟糸** な、なんだって? 合コンに誘ってくれるとこのか? あ、ちょ、ちょっと待った! えへん、簿記美ちゃん、ここは神聖なる会計事務所の職場だよ。発言を慎みたまえ!

**簿記美** だからこそ誘っているんですよ。じゃあ税太さんは?

**税太** もちろん出ます。

**襟糸** むむむ! 君は妻子持ちの身でよくまあいけしゃあしゃあと…。慎みたまえ! えーい、しょうがない、数が足りないなら後輩のためにひと肌脱いで出席してあげようじゃないか。代表には内緒だぞ。

**簿記美** じゃあ先輩、お手持ちのノートパソコンのカメラに向かって参加者に手を振ってください。

**襟糸** 何だと? 意味が全くわからないのだが。

**簿記美** 襟糸先輩、ひょっとして勘違いしてませんか? 「合コン」って、「税理士合同コンペティション」の略ですよ。田久巢会計事務所と他の事務所とで合同で開くことになったコンペティションのことです。よその事務所から誘われたところなんです。でも今は外出して集まるとあまりよくない時期なので、特定の場所には集まらずにWeb上の会議室で討論するバーチャル合コンになったんです。

## 筆者 天野 大輔(あまの だいすけ)

1979年生まれ。公認会計士・税理士。税理士法人レガシィ代表社員パートナー、株式会社レガシィ常務取締役。慶應義塾大学卒業、同大学院修了(フランス文学を研究)。情報システム会社でシステムエンジニアとして勤務。その後公認会計士試験に合格、監査法人に入り、会計監査・内部統制監査・IPO準備監査に従事。また事業再生、M&A支援等のコンサルティング業務も行う。その後日本で最大級の相続税申告数実績のある税理士法人レガシィへ。現在は相続・事業承継対策コンサルティングを担当。また情報戦略本部長としてプラットフォームの構築も担当し、2019年7月「Mochi-ya」をリリース。<https://www.mochi-ya.ne.jp>  
主な著書:『改訂版 はじめての相続・遺言100問100答』(2017年、明日香出版、共著)



**襟糸** そ、そーゆーことか! はは、も、もちろん最初から知ってたさ。ちょっとからかったまでだ。はは。コンペティションね。しかもバーチャルね。トホホ。

**田久巢** お、なんだなんだ、Web会議で税理士同士が意見を戦わせるのか! 面白そうだな。それにしても最近はどういったWeb会議が急速に普及したな。私も事務所の代表としていろんな企業から提案をうけることがあるが、最近はWeb会議で提案されたプレゼン資料の内容にそのままOKを出したりもすることも多いからな。

**税太** 代表、思ったのですが、我々のお客様ともこのWeb会議で提案をしたり、報告をしたり、相談にのったりすることはできないでしょうか?

**襟糸** おい、税太、冗談にもほどがあるぞ。我々税理士はお客様のところに直接会いに行き対面で話さないとダメな職業だ。お前はIT企業にいたからわからんのだろうが、汗水たらして重たい書類を持ってい

く苦勞をしないと認められないんだ。見る、この俺の右肩を。申告書類のファイルが重すぎて左肩と比べて盛り上がっているだろう。

**簿記美** あ、あの襟糸先輩、テレビでよく見るインサイドセールスのための動画CMみたいになってますけど。確かあれば、ふくらはぎのヒラメ筋でしたか。

**田久巢** まあまあ、僕も古い人間だからね、襟糸君が言うことはよくわかるよ。何度も足しげく通って頭を下げてようやく信頼される、というのは確かにある意味今でも真実だからね。だけど感染症の拡大を防ぐために外を出歩けなくなったり、訪問を受け付けたくない場合はどうだろうか? お客様としては、直接会うのはためられるけど税務相談はしてほしいと思うだろう。その時にWeb会議が自由自在に使えと、とても助かるよね。だから税太君の提案も積極的に進めるべきだと僕は思うよ。



### 今回のポイント

「人とは直接会ったほうがよい」、これは確かにある意味真実だ。同じ空間に居合わせることで親しみやすくなるから

だ(逆により関係が悪化することもあるだろう)。でも非常事態が起きるとそういうわけにはいかない。その時、直接会わずに信頼を勝ち取るにはどうするか? どうしても、メールだとニュアンスが伝わらず、電話だと表情が伝わらない。そこでWeb会議だ。以前から普及しているが、最近のツールは動画は鮮明で音もクリアだし、文書や画面も共有できるのでスムーズに議論が行える上に、録音もしてくれる。非常事態に限らず、これはかなり業務効率を高めるし、税理士にとっても画期的なツールとなり得るだろう。あと最後に、Web会議で見るとポイントを教えよう。会議に参加しているメンバーの中に、右肩が左肩に比べて異常に盛り上がっている税理士がいたら、その税理士は信頼できると見ていいぞ!(笑)